

もしもの時のチカラは、絆の強さ
世代・地域・企業間の防災・減災の担い手を「つなぐ」

つなぎ舎

SUNAGIYA

日時 平成29年11月11日(土)
13:00~16:00(12:30受付開始)

場所 名古屋大学豊田講堂

参加費 無料

定員 1,200名(事前申込制・先着順)

主催 防災人材交流セミナー実行委員会
(名古屋大学/愛知県/名古屋市/認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード/あいち防災リーダー会/特定非営利活動法人あいち防災リーダー育成支援ネット/なごや防災ボラネット/特定非営利活動法人耐震化アドバイザー協議会)
あいち・なごや強靱化共創センター

共催 一般社団法人日本損害保険協会中部支部
中日新聞社
一般社団法人国立大学協会



パネルディスカッション
聴講のみなさまには
災害時に役立つグッズを
プレゼント!!

内容

第1部

『被災地に思いを馳せる若者』と『これから災害を体験するであろう若者』とのパネルディスカッション

- 阪神・淡路大震災の経験から兵庫県立舞子高校環境防災科に進学し、現在は防災NPOに勤務する若者
- 新潟県中越地震で弟を亡くし、張り裂けそうな想いと葛藤した当時中学生だった若者
- 東日本大震災で壊滅的な被害を受けた故郷を憂い、東京からUターンして復興に尽力する若者
- 熊本地震で自身が通う東海大学の仲間が犠牲となり、変わり果てた南阿蘇村への支援活動に奔走する若者

被災地に思いを馳せる4名の若者の話を聞きます。また、これから災害を体験するであろう若者が午前中に行った分科会の成果を発表します。この地域の防災・減災のベテラン陣や福和センター長によるアドバイスと、若者を代表するゲストもまじえてパネルディスカッションを行います。

第2部

来場者全員参加のクイズ大会!

防災・減災のことを楽しく学んで帰りましょう!
優秀者の方には賞品として被災地の物産などをプレゼントします。

出演者紹介

あいち・なごや強靱化共創センター長
名古屋大学減災連携研究センター長・教授

福和 伸夫



建築耐震工学や地震工学に関する教育・研究のかたわら、地域の防災・減災の実践に携わる。各地の地震被害予測や防災・減災施策づくりに協力しつつ、振動実験教材『ぶるる』の開発や各地で出前講座を行い、災害被害軽減のための国民運動づくりに勤しむ。平成29年6月に設立されたあいち・なごや強靱化共創センターのセンター長も務める。

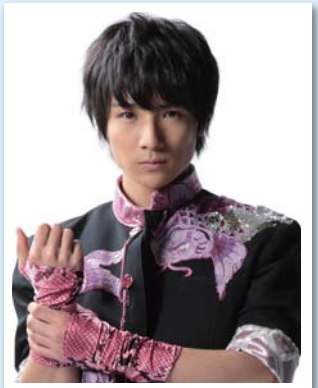
認定特定非営利活動法人
レスキューストックヤード代表理事

栗田 暢之



阪神・淡路大震災を契機に、現在まで45箇所を超える災害現場で支援活動を展開。また、その現場での学びを生かし、地域防災力向上や災害ボランティア育成等に尽力している。2000年東海豪雨水害時は「愛知・名古屋水害ボランティア本部」の本部長を務めた。全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)代表理事、愛知県被災者支援センター長等も務める。

ゲスト



本田 剛文
BOYS AND MEN



高橋 萌
OS☆U

つなぎ舎

T S U N A G I Y A

近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震。私たちは学び、そして備えてきました。そんな防災・減災の担い手たちが、この中部エリアにはたくさんいます。しかし、想定外の大災害に立ち向かうには産・官・学・民の連携を始め、世代、地域、組織を超えて、人と人との顔の見えるネットワークをさらに拡大・強化する必要があります。

本シンポジウムは普段から遠慮なく想いを伝え合い、協力し合える“絆の強化”を図り、災害時にその力を最大限に発揮できるしなやかで強い地域づくり・人づくりをめざして開催するものです。

10:30～12:00 減災館

「減災館」開放

自家発電・太陽光発電装置などを備えた免震建物で、模型・展示物や防災・減災に関する最先端の研究を紹介するとともに建築耐震技術の開発と実験の場となる「減災館」を一般開放します。

《特別展示》

- 名古屋大学減災連携研究センター監修、中日新聞社作成の防災パネルの展示
- 中日新聞特集紙面(毎月連載)の「備える」「備える3.11から」を全て収めた、「備えるホルダー」の展示

12:00～16:00 豊田講堂アトリウム

防災・減災を学ぶ作品展示

- 一般社団法人日本損害保険協会主催「ぼうさい探検隊マップコンクール」の作品展示
- NIE(Newspaper In Education)の新聞切り抜きコンクールの作品展示
- 防災教育チャレンジプランの活動紹介
- 優れた防災教育の取り組みを顕彰する「ぼうさい甲子園」のオリジナル新聞紹介
- 中日新聞販売店ブース



【あいち・なごや強靱化共創センター】

愛知県、名古屋市、名古屋大学が、産業界と共に、大規模災害発生時においても、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会・経済活動が維持されるための研究開発や事業を、産学官が戦略的に推進するため、平成29年6月に設立。

■防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」参加申込書 本申込書はあいち・なごや強靱化共創センターのホームページから入手できます (URL <http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso>)

FAX: 052-789-2975 / Eメール: kyoso@gensai.nagoya-u.ac.jp

団体名		◀該当なしの場合は記入不要	
代表者氏名		年齢	歳
代表者居住の市町村			
電話番号	FAX番号		
メール			
今後の防災イベント等のご案内	希望する・希望しない	同行者人数(代表者以外)	名

*参加申込みに関する個人情報、本事業以外の目的には使用しません。なお、参加決定通知は行いません。定員を超過した場合はご参加いただけない方へご連絡します。